断面修復工　九州フィールド対象NETIS技術等選定一覧

□ 工法比較表対象技術　□ 新規対象技術（調査中）　□ 削除技

令和8年10月現在

※「活用状況（本省）」欄にNETIS掲載期間内の大まかな活用件数を記す。☆＝500件以上、◎=100件以上、○=50件以上、□=20件以上

（注）NETISホームページへ移動しない場合は、ファイルをダウンロードしてご使用ください。

整理番号	技術名	NETIS番号	AVG	アブストラクト	区分	分類1 Lv.1	分類1 Lv.2	分類1 Lv.3	分類1 Lv.4	技術の位置づけ	活用効果評価	活用状況（本省）※	掲載期間終了技術（終了時期）	生産供給体制（機械保有台数等）	備　考	NETIS HPリンク先（注）
1	N-SSI工法	KK-100009	VG	本工法は、飛来塩分や凍結防止材による塩害で劣化したコンクリート構造物に対する高防錆型断面修復工法である。材料は、「塩分吸着剤」を添加したポリマーセメント系で構成され、補修部位の劣化状況や塩化物イオン量に応じて材料を加減することにより、コストを縮減できる。	工法	道路維持修繕工	橋梁補修補強工	断面修復工		［活用促進］	有	○	2021/3/31	-		-
2	高炉スラグ・繊維入りポリマーセメントモルタル「エフモル」	HK-110049	VG	高炉スラグ微粉末・細骨材を配合したポリマーセメントモルタル「エフモル」は、高炉スラグの特長である潜在水硬性により、耐塩害性能・耐凍害性能・化学抵抗性能に優れた補修材料です。また繊維を混入しているため、初期乾燥収縮ひび割れを抑制します。	材料	道路維持修繕工	橋梁補修補強工	断面修復工		評価済み	有	□	2022/3/31	（全国的）汎用機械により供給（モルタルミキサ、モルタルミキサ）可能		-
3	NCショット	QS-150001	VG	本技術は、コンクリート構造物の補修補強工事に用いる断面修復材である。従来その細骨材として使用していた天然砂の代わりに、高炉水砕スラグを独自の球形化技術にて加工し、プレミックスモルタル化にした。本技術の活用により耐久性、耐酸性などの品質向上が期待できる。	材料	道路維持修繕工	橋梁補修補強工	断面修復工		［活用促進］	有	□	2026/4/1	・全国供給可能　・機械は特になし		-
4	コンクリート構造物の断面修復材料「ゴムラテシリーズ」	QS-150017	VG	超速硬ポリマーセメントモルタルまたはコンクリートにより、劣化損傷したコンクリート構造物の断面修復を行う技術で、従来は、超速硬コンクリートで対応していた。本技術の活用により、乾燥収縮が小さく、付着性・耐久性に優れた断面修復が可能である。	材料	道路維持修繕工	橋梁補修補強工	断面修復工		［活用促進］	有	○	2026/4/1	汎用機械により供給(練り混ぜ)可能		-
5	コンクリート構造物の断面修復乾式吹付け工法	CB-020040	VG	ポリマーセメントモルタル乾式吹付工法はコンクリート構造物の断面修復や補強を独自のサイロシステムを用いて、短期間に施工する優れた工法である。	工法	道路維持修繕工	橋梁補修補強工	断面修復工		［活用促進］	有		2017/4/20	全国（約70台）		-
6	LCユニット工法	SK-170011	A	本技術は、容易に調節が可能なスペーサーとユニット化された鉄筋、及び高品質モルタルを組み合わせた補修・補強工法であり、従来は現場組立の鉄筋とポリマーセメントモルタルで施工していた。本技術の活用により、工程の短縮及び経済性の向上が図れる。	工法	道路維持修繕工	橋梁補修補強工	断面修復工						汎用機械より供給(練り混ぜ)可能		https://www.netis.mlit.go.jp/netis/pubsearch/details?regNo=SK-170011
7	繊維補強超速硬ポリマーセメントモルタル「リフレモルセットSF」	KT-170058	VE	本技術は、劣化したコンクリート構造物上面の断面修復材で、従来は超速硬コンクリートで対応していた。本技術の活用により、耐久性・付着性・低収縮性が改善され、品質の向上が図れます。また、従来技術に比べて、ハツリ量が減るので、環境、経済性の向上が図れます。	材料	道路維持修繕工	橋梁補修補強工	断面修復工		［★ 活用促進］	有			-		https://www.netis.mlit.go.jp/netis/pubsearch/details?regNo=KT-170058
8	湿潤面対応急速硬化補修材	KT-170061	A	本技術は、湿潤状態の施工面に適用できる急速硬化・高強度の補修材で、従来は、エポキシ樹脂系断面修復材で対応していた。本技術の活用により、湿潤の施工面であっても接着性が良く、短時間で硬化・強度が発現するため、工程の短縮および施工性、経済性等の向上が図れる。	製品	道路維持修繕工	橋梁補修補強工	断面修復工						未回答		https://www.netis.mlit.go.jp/netis/pubsearch/details?regNo=KT-170061
9	速硬系ポリマーセメントモルタル「U-リペアパッチEX、U-リペアライトEX」	TH-180003	VE	アルミナセメントを含む数種類の結合材を用いた速硬系のポリマーセメントモルタルであり、早期開放及び工期短縮が望まれるコンクリート構造物の補修工事全般に使われる断面修復材である。	製品	コンクリート工	コンクリート工	モルタル工			有			通常在庫品：数量により受注生産となるため、2週間～1か月の納期が必要となる場合がある。		https://www.netis.mlit.go.jp/netis/pubsearch/details?regNo=TH-180003
10	エマルジョン型ポリマー乾式吹付け工法	KTK-180004	VE	本技術は、コンクリート構造物の断面修復における乾式吹付け工法で、従来は湿式吹付け工法で対応していた。本技術の活用により、施工時の粉塵の発生が抑えられ、且つ優れた厚付け性と長距離圧送性を有するため、経済性および施工性が向上し周辺環境への負荷を軽減できる。	工法	港湾・港湾海岸・空港	維持補修工	コンクリート補修工	断面修復		有			全国に47社の工法協会員により運営し全国に供給可能である。（2025年5月末時点）		https://www.netis.mlit.go.jp/netis/pubsearch/details?regNo=KTK-180004
11	セルガード	KT-180077	A	本業務は、コンクリート構造物を補修する技術で、従来はポリマーセメントモルタルにより補修を行ってきたが、残存錆や塩分の侵入で、再劣化が起こり易かった。本技術の活用により、再劣化を防止できるようになり、コンクリート構造物の耐久性の向上が図れる。	材料	道路維持修繕工	橋梁補修補強工	断面修復工						全国		https://www.netis.mlit.go.jp/netis/pubsearch/details?regNo=KT-180077
12	高耐久性断面修復工法「タフショットクリート工法」	QS-180044	A	本技術は、独自の材料を配合したノンポリマーセメントモルタルを使用することで組織の緻密化を可能とし優れた強度・耐久性を有するため、ライフサイクルコストの低減が可能となり、厚付け性にも優れるため工期短縮による経済性の向上が期待できる。	材料	道路維持修繕工	橋梁補修補強工	断面修復工						供給可能地域：全国		https://www.netis.mlit.go.jp/netis/pubsearch/details?regNo=QS-180044
13	塩分吸着型 乾式吹付工法	KT-190023	A	本技術は、塩分吸着剤を混合したポリマーセメントモルタル(PCM)乾式吹付けによる断面修復工法で、従来は吸着剤を混合しないPCM乾式吹付けであった。本技術の活用により有害な塩化物イオンを吸着して無害化するため、さらなる高耐久性断面が形成でき品質の向上に繋がる。	工法	道路維持修繕工	橋梁補修補強工	断面修復工						全国（約70台）		https://www.netis.mlit.go.jp/netis/pubsearch/details?regNo=KT-190023
14	パワーグラウト(自己治癒補修材)	QS-190036	A	コンクリート工における断面補修工事、狭隘部への打設に使用するモルタル材に自己治癒成分をプレミックスした材料で 施工後に発生したひび割れに水分が供給されることにより膨潤剤の作用でひび割れが自己閉塞する機能を有した高流動性モルタル材で 構造物保全が期待できる。	材料	道路維持修繕工	橋梁補修補強工	断面修復工						受注生産につき、受注後、製品を納入するまで2週間を要する		https://www.netis.mlit.go.jp/netis/pubsearch/details?regNo=QS-190036
15	耐塩害タイプポリマーセメントモルタル「U-リペアパッチCT」	CG-200019	A	塩化物イオンが拡散しにくいポリマーセメントモルタルであり、周辺環境の塩分濃度が高いコンクリート構造物の補修工事においても、鉄筋腐食を抑制して長寿命化できる断面修復材である。	材料	道路維持修繕工	橋梁補修補強工	断面修復工						受注生産品		https://www.netis.mlit.go.jp/netis/pubsearch/details?regNo=CG-200019
16	亜硝酸リチウム併用型断面修復工法「リハビリ断面修復工法」	CG-220003	A	本技術は、塩害・中性化によって劣化したコンクリートを亜硝酸リチウムを混入した断面修復材を用いて補修する工法である。断面修復材に用いる亜硝酸リチウムがコンクリート中へ浸透拡散し、鉄筋の不動態皮膜を再生することで高い防錆環境を構築する。	工法	道路維持修繕工	橋梁補修補強工	断面修復工						供給可能地域：全国、製造拠点：広島県、納期：2週間程度		https://www.netis.mlit.go.jp/netis/pubsearch/details?regNo=CG-220003
17	CPJ-L（コンパクトジェットーL）	CG-230003	A	従来は超速硬コンクリートなどを使用していた。本技術は断面修復材料として用いる低弾性ラテックス改質超速硬コンクリートで低収縮性と優れた物質浸透抵抗性を有している。道路橋コンクリート床版を始めとするコンクリート構造物の耐久性向上が期待できる。	材料	道路維持修繕工	橋梁補修補強工	断面修復工						全国で技術提供可能。練混ぜに使用するミキサはコンクリート練混ぜ用のミキサを使用する。（一軸強制練りミキサ，二軸強制練りミキサ，傾動ミキサ等を使用することが可能。）		https://www.netis.mlit.go.jp/netis/pubsearch/details?regNo=CG-230003
18	ポリマーセメント系無収縮グラウト材「プレユーロックスDXP」	KK-230050	A	本技術は、無収縮モルタルとポリマーセメントの性能を併せ持つコンクリート構造物の断面修復用グラウト材で、従来は、汎用型無収縮グラウト材で対応していた。本技術の活用により、乾燥ひび割れの抑制や遮塩性に優れ、塩分浸透が抑制されるため、品質の向上が図れる。	材料	道路維持修繕工	橋梁補修補強工	断面修復工						汎用機械により供給(練り混ぜ)可能		https://www.netis.mlit.go.jp/netis/pubsearch/details?regNo=KK-230050
19	HI-SPECシール工法	KK-230060	A	本技術はひび割れが発生したコンクリート床版の補修における高浸透型水性エポキシ樹脂を使用した防水機能を持つ下地補修工法で、従来はウォータージェットによる劣化部除去及び断面修復工法で対応していた。本技術の活用によりコスト縮減が図られ、品質の向上が期待出来る。	工法	道路維持修繕工	橋梁補修補強工	断面修復工						材料は大阪府内より出荷、定期航路がある離島を含めた国内全域への供給が可能である。汎用機械で練り混ぜ、施工が可能である。		https://www.netis.mlit.go.jp/netis/pubsearch/details?regNo=KK-230060
20	断面修復材の施工間隔の短縮を図る「リプロクイックエ法」	KK-230077	A	本技術は、断面修復材用ポリマーセメントモルタルに凝結促進材を添加し、施工間隔を短縮する工法で、従来は凝結促進材を添加しない左官工法で対応していた。本技術の活用により凝結時間の短縮及びコントロールが可能となるため、工程短縮、経済性及び施工性の向上が図れる。	工法	道路維持修繕工	橋梁補修補強工	断面修復工						汎用機械により供給(練り混ぜ)可能		https://www.netis.mlit.go.jp/netis/pubsearch/details?regNo=KK-230077
21	コンクリ欠損部補強066	KT-240012	A	本技術は、コンクリート欠損部に用いる密着成分を超微粒子に改良した変性エポキシ樹脂防錆補修・補強剤で、従来は、ポリマーセメントモルタル等で対応していた。本技術の活用により、被塗面との付着性が向上し、防錆処理等の前処理が不要となるため、工程の短縮が図れる。	工法	道路維持修繕工	路面補修工	欠損部補修工						-		https://www.netis.mlit.go.jp/netis/pubsearch/details?regNo=KT-240012
22	ジェットモルタルシリーズ	KT-240042	A	本技術は、コンクリート補修工事に使用する、超速硬セメントを用いたプレミックスモルタルである。従来は、生コン工場から出荷されるモルタル(1:3)で対応していた。本技術の活用により、早期交通開放が可能となるため、工程の短縮及び施工性の向上が図られる。	工法	道路維持修繕工	橋梁補修補強工	断面修復工						汎用機械により供給（練り混ぜ）可能（大量打設の場合は、専用プラント車による供給が可能）		https://www.netis.mlit.go.jp/netis/pubsearch/details?regNo=KT-240042
23	断面修復工法「エアショットワン」	KK-240029	A	本技術は圧縮空気で圧送したモルタルパウダーとポンプ圧送した水を吹付ノズルの先端で混合・吹付する乾式吹付工法で、従来は湿式吹付工法で対応していた。本技術の活用によりモルタルの練り混ぜが不要となるため施工性、経済性、品質、作業環境の向上、工程の短縮が図れる。	工法	道路維持修繕工	橋梁補修補強工	断面修復工						専用機械によって施工実施		https://www.netis.mlit.go.jp/netis/pubsearch/details?regNo=KK-240029
24	耐摩耗性を向上させた水路補修用「ショウワRP-1工法」	KK-240067	A	従来技術でもPCMが用いられていたが、本技術は耐摩耗性を向上させており、水路特有の水砂などに対する耐摩耗性が求められる環境で活用することで構造物の延命化が期待できる。	工法	道路維持修繕工	橋梁補修補強工	断面修復工						全国に供給可能（CE35:12kg／セット、RP-1:20kg／袋、RPフィニッシャー：18kg／缶での提供）		https://www.netis.mlit.go.jp/netis/pubsearch/details?regNo=KK-240067

断面修復工　九州フィールド対象NETIS技術等選定一覧

工法比較表対象技術　新規対象技術（調査中）　削除技

令和8年10月現在

※「活用状況（本省）」欄にNETIS掲載期間内の大まかな活用件数を記す。☆＝500件以上、◎=100件以上、〇=50件以上、□=20件以上

（注）NETISホームページへ移動しない場合は、ファイルをダウンロードしてご使用ください。

整理番号	技術名	NETIS番号	AVG	アブストラクト	区分	分類1 Lv.1	分類1 Lv.2	分類1 Lv.3	分類1 Lv.4	技術の位置づけ	活用効果評価	活用状況（本省）※	掲載期間終了技術（終了時期）	生産供給体制（機械保有台数等）	備　考	NETIS HPリンク先（注）
25	シラン系鉄筋腐食抑制混和剤「プロテクトシル@ WA CIT」	KK-250012	A	本技術はシラン系腐食抑制混和剤を用いたポリマーセメントモルタルで断面修復をする技術で、従来は亜硝酸カルシウム系やアミン系を用いていた。本技術の活用により、鉄筋表面に黒さび（Fe3O4）の形成が顕著であるため、品質が向上する。	工法	道路維持修繕工	橋梁補修補強工	防食対策工						／		https://www.netis.mlit.go.jp/netis/pubsearch/details?regNo=KK-250012
26	低炭素型無収縮モルタル「プレユーロックス GX」	KK-250043	A	本技術は、セメント量を約30%削減し、高炉スラグ等を増量した現場練り無収縮モルタルで、従来は一般的な無収縮モルタルで対応していた。本技術の活用により、製造時のCO2排出量を約55%削減できるため環境への影響抑制が図られる。	工法	道路維持修繕工	橋梁補修補強工	断面修復工						／		https://www.netis.mlit.go.jp/netis/pubsearch/details?regNo=KK-250043
27	水溶性錆転換型防錆プライマー「リプロチェンジコート」	KK-240019	A	本技術は断面修復工の鉄筋ケレン後の残存赤錆等を黒錆に転換させる水溶性錆転換型防錆プライマーである。従来は亜硝酸リチウム配合ポリマーセメント系鉄筋防錆材を塗布していた。本技術の活用により断面修復材と鉄筋との付着強度が向上し、耐久性、経済性の向上が図れる。	材料	道路維持修繕工	橋梁補修補強工	断面修復工						／		https://www.netis.mlit.go.jp/netis/pubsearch/details?regNo=KK-240019
28	複合型ケイ酸塩系鉄筋防錆材「リフレ防錆コートZN」	CB-240020	A	本技術は鋼材に用いる防錆材であり、従来技術は亜硝酸リチウム＋モルタルの組み合わせで対応していた。本技術の活用により、施工期間の短縮や省力化および防錆効果の向上が期待できる。	－	コンクリート工	コンクリート工	鉄筋工	鉄筋工					／		https://www.netis.mlit.go.jp/netis/pubsearch/details?regNo=CB-240020
29	急速施工に優れる塩分固定型断面修復工法「スイフティショット工法」	KK-260039	A	本技術は、湿式吹付けの断面修復工において、繊維・混和材・可塑剤を配合した工法で、従来はポリマーセメントであった。本技術の活用により、硬化時間が短く、付着強度が大きく、流動性が高いため、工程が短縮し経済性・品質・施工性が向上し、環境への影響が抑制される。	工法	道路維持修繕工	橋梁補修補強工	断面修復工						／		https://www.netis.mlit.go.jp/netis/pubsearch/details?regNo=KK-260039